

女性のためのがん検診

～国民健康保険加入のかたも、社会保険加入のかたも、
無料で検診を受けられます!～

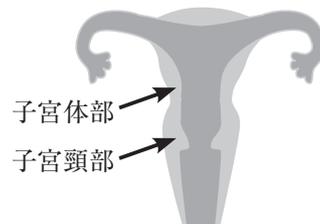
保健師からの
「ちょっぴり
いらはなし」
担当：山口

若い女性に増加する『子宮頸がん』

子宮頸がんは子宮の頸部(子宮の入り口)にできるがんです。

子宮頸がんの発生には「ヒトパピローマウイルス(HPV)」の感染が危険因子と言われています。性交渉によって感染しますが、免疫の働きなどで自然に消滅する人がほとんどです。しかし、一部の人で持続感染し、前がん病変になり、その一部ががんに行進します。

近年は、20歳代後半から発病が増え、30～40歳代にかけてピークをむかえ、以前より若い女性に増えています。

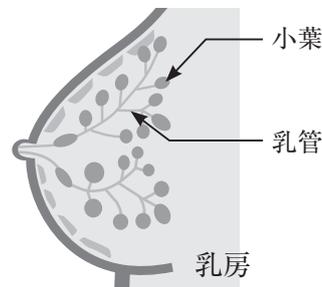


早期発見が重要な『乳がん』

乳腺は、赤ちゃんが生まれると母乳をつくる組織です。

乳腺でつくられた母乳を運ぶ乳管にできるがんを『乳がん』と言います。

乳がんは女性に一番多いがんで、40～50歳代をピークに発病が増加しています。乳がんは子育てや介護、仕事など女性として一番忙しい時期にかかりやすい病気です。



早期発見のために大切な『定期的な検診』

子宮頸がんも乳がんも初期に病変を見つけることができれば、治る可能性が高くなります。

若いうちから定期的に検診を受けておくことが大切です。自分のため、家族のために、ぜひ検診を受けましょう。また、お子さんやお孫さんに、ぜひ検診を受けるように話してみてください。

～町では次の検診を1年に1回、無料で受けられます～

検診種類	対象	内容
子宮頸がん	20歳以上の女性	内診 頸部細胞診
乳がん	30歳以上の女性	触診(希望者) 超音波検査(30～39歳) マンモグラフィー(40歳以上)

■他にもこんながん検診があります。

大腸がん	40歳以上	便潜血反応検査
胃がん	40歳以上	バリウム検査または内視鏡検査のどちらか選べます
肺がん	40歳以上	胸部X線(レントゲン)撮影
前立腺がん	50歳以上の男性	触診(希望者) 血液検査(腫瘍マーカー)

対象年齢：年度中にその年齢になるかた

問合せ 健康福祉課 健康づくり担当 ☎62-1233